





週間市場レポート (2023年3月20日～3月24日)

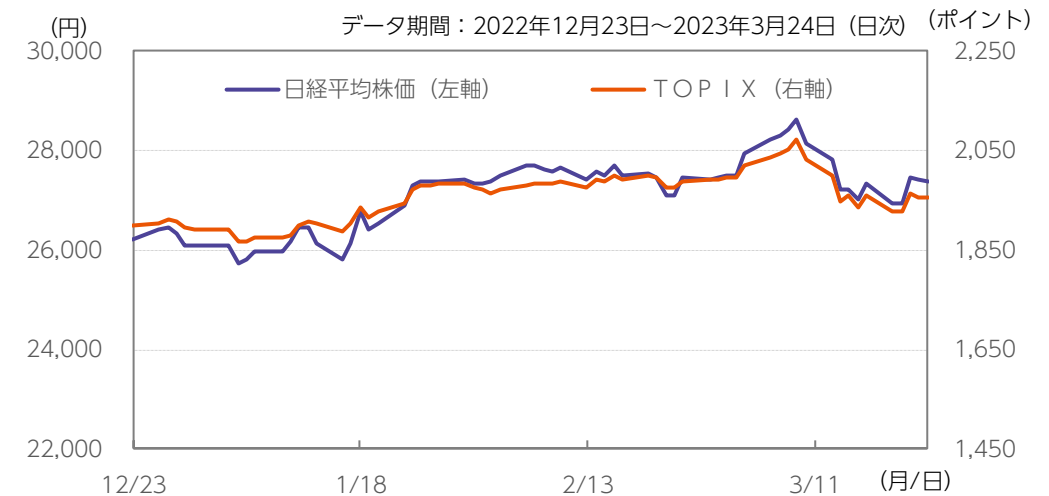
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2023/3/17	先週末 2023/3/24	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,333.79	27,385.25	0.19 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,959.42	1,955.32	▲0.21 ↘
ダウ工業株30種平均 (ドル)		31,861.98	32,237.53	1.18 ↗
S&P500種指数		3,916.64	3,970.99	1.39 ↗
ナスダック総合指数		11,630.51	11,823.96	1.66 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,064.99	4,130.62	1.61 ↗
S&P/ASX300指数		6,952.90	6,911.44	▲0.60 ↘
上海総合指数		3,250.55	3,265.65	0.46 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		803.63	818.28	1.82 ↗
東証REIT指数		1,767.63	1,761.20	▲0.36 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		688.38	680.53	▲1.14 ↘
ASX300 REIT 指数		1,371.90	1,327.50	▲3.24 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		165.84	163.23	▲1.57 ↘
日本10年国債 (%)		0.288	0.316	0.028 ↗
米国10年国債 (%)		3.429	3.376	▲0.052 ↘
ドイツ10年国債 (%)		2.108	2.129	0.021 ↗
英国10年国債 (%)		3.284	3.283	▲0.001 ↘
ドル/円		131.85	130.73	▲0.85 ↘
ユーロ/円		140.67	140.66	▲0.01 ↘
英ポンド/円		160.56	159.89	▲0.41 ↘
豪ドル/円		88.31	86.86	▲1.64 ↘
フィラデルフィア半導体指数		3,083.52	3,121.26	1.22 ↗
WTI原油先物 (ドル)		66.74	69.26	3.78 ↗
CRB指数		254.66	258.49	1.51 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。米シリコンバレーバンク（SVB）の破綻をきっかけとした、欧米の金融システム不安や、それともなう景気悪化懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、週初は金融株を中心に幅広い銘柄が売られました。21日のイエレン米財務長官による米中小銀行の預金保護を正当化する発言で、金融システム不安防止に向けた対策強化への期待が高まると大きく上昇したものの、米連邦準備制度理事会（FRB）が米連邦公開市場委員会（FOMC）で、金融不安のなかでも0.25%の利上げを決定し、利上げによる米景気の減速懸念が再び強まると、週末まで下落しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

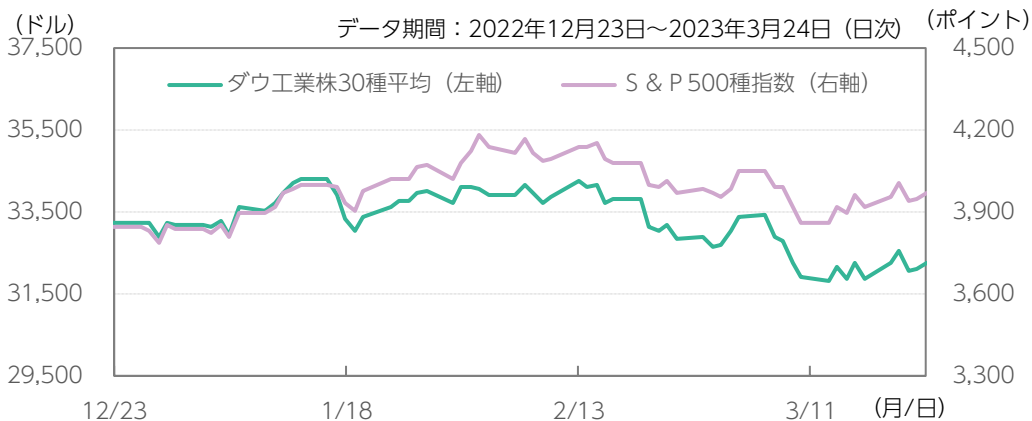
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。欧米の金融システムへの不安から相対的に安全な資産とされる債券は買いが優勢となったものの（利回りは低下）、イエレン米財務長官の米中小銀行の預金保護を正当化する発言を受け金融システム不安がやや和らぐと、米長期金利に連れて国内金利も大幅に上昇しました（価格は下落）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

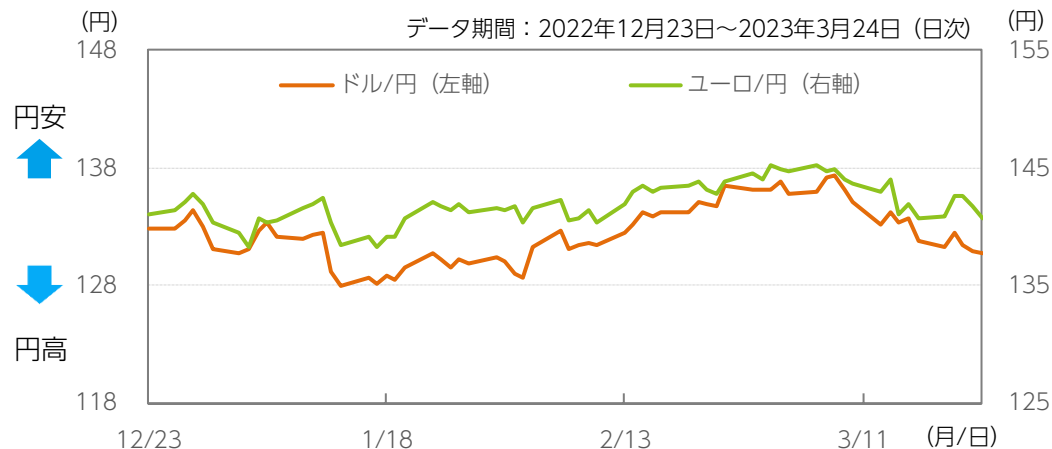
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇しました。週初は、経営不安のクレジットスイスが金融大手に買収されることで合意されると金融システム不安への懸念が和ぎ上昇しました。FOMCでFRBが0.25%の利上げを実施し、金融機関の信用不安がくすぶるなかでも従来の引き締め姿勢を維持したことから、景気悪化懸念が強まり下落したものの、米財務長官の預金保護の拡大姿勢を示すと買い安心感が広がり週末まで上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。欧米の金融不安がくすぶるなか、FOMCではFRBがインフレ対応を優先する姿勢を示し、景気悪化への警戒感が強まり米長期金利が大幅に低下したことから、日米金利差の縮小を受けた円買い・ドル売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

欧米の金融機関の信用不安がくすぶり続けるなか、預金保護の拡大など、財務省当局の支援をめぐり、株式市場は一喜一憂の展開となっています。

21～22日の日程で開催されたFOMCでは、0.25%の利上げが決定されました。欧米の金融機関の信用不安がくすぶるなかでも、インフレ対応を優先していく方針が示されました。なお、イエレン米財務長官は、米国銀行協会のイベントや米下院での議会証言において、米銀に対する預金保護について『必要ならさらなる措置を講じる用意がある』と述べたうえ、米国の銀行システムの安定を重視する姿勢を示しました。

米SVBの経営破綻をきっかけに、欧米金融機関の財務状況に対する、市場の疑心暗鬼が続くなか、今週は新規の材料に乏しく、方向感の欠ける展開となりそうです。ただし、年度末を控えていることから、個人投資家を中心とした配当の権利取り目的の買いは相場の支えとなると考えられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>